専大スポーツ No.286

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からログイン）でご確認ください
専大スポーツweb（http://sensupo.web.fc2.com/）でも大会結果を配信しています

シード権獲得ならず

五ヶ谷（1区）区間3位の力走

第86回箱根駅伝

総合17位

5区　星野　光汰（経済1・東京実業高）

4区　安島　慎吾（経営2・勿来工業高）

3区　酒井　潤一（経営4・久里浜高）

2区　五十嵐祐太（文3・荏田高）

1区　五ヶ谷宏司（経営4・専大松戸高）

第86回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）が1月2、3日に行われた。3年ぶりのシード権獲得に向け、序盤からの流れを重視した布陣で臨んだ専大だったが、11時間29分51秒の総合17位（往路17位＝5時間45分36秒、復路15位＝5時間44分15秒）でゴールした。

往路　1区に起用された主将の五ヶ谷宏司は序盤から先頭集団で首位争いを繰り広げ、専大の1区ベストタイムである1時間2分46秒で区間3位の力走を見せた。最高の形で渡された襷をつなぐため、2区の五十嵐祐太、3区の酒井潤一とシード権を狙える11位でつないだが、上位を維持できず、往路を17位で終えた。

復路　先頭と10分以上の差がついたため、12位以下の8校が一斉スタートとなった。往路の結果を巻き返すべく、初出場となった山本浩平が7区を粘りの走りで順位を1つ上げ、後続に望みをつなぐ。9区を任された石垣弘志が区間8位の力走で、「良くない順位で襷を受け取ったが、あきらめない気持ちを持って全力で走った」と最上級生の意地を見せるものの、復路の合計タイムは15位。繰り上げ分を加算した結果、総合17位に終わり、悲願のシード権獲得はならなかった。

大声援に感謝

五ヶ谷主将は、「上位で襷を渡すことは、心に決めていた。3位で渡せたが、チームのため、やはり区間賞をとらなければいけない区間だった。自分の力は出せたが、もっと力をつけるべきだった」と個人の結果について語り、「シード権を取れなかったことが悔しい。応援してくれた人たちに、シード権を取って恩返しをしたかったが、このような結果になって主将として責任を感じている」と悔しさをにじませた。

来年へ決意新た

加藤覚監督は「今回こそ必ずシード権を、と大会に臨みましたが、不本意な結果に終わり、皆様の期待に応えることができず申し訳ありません。来年こそ上位に食い込めるように全力を尽くしてチームをつくり上げていきたいと思います。ご声援本当にありがとうございました」と語った。

次回も予選会からの挑戦になるが、今回〝箱根〟を経験した5人を中心にチームを形成し、もう一度箱根路に戻ってくることを期待したい。

（山口　高弘・商2）

10区　井上　直紀（商4・報徳学園高）

9区　石垣　弘志（経済4・鎌倉学園高）

8区　桑原　豊（経済4・専大松戸高）

7区　山本　浩平（経営3・八頭高）

6区　佐藤　優気（商3・黒沢尻工業高）

＊ランナーの写真は専スポ部員が撮影。撮影者は▽1区＝土屋▽2区＝山中▽3・8区＝伊藤▽4区＝大津▽5・6区＝山口▽7区＝森住▽9区＝吉野▽10区＝馬場

●川崎ポイント

●仲六郷・雑色ポイント

●大森ポイント

●大手町ポイント

●応援ポイントに●お集まりのみなさん

ご声援ありがとうございました

●茅ヶ崎ポイント

●辻堂ポイント

●権太坂ポイント

●保土ヶ谷ポイント

●芦ノ湖ポイント

●小田原ポイント

●二宮ポイント

●平塚ポイント